

# 令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
人体のしくみ1							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	1年	前期	井村 幸介		○		
分野区分	教育課程			講義形式	コマ数		
基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活			座学	21		
科目概要							
この科目では「骨」を中心に学びます。骨をじっくり観察してみると驚くほど複雑で巧みな形状をしており、進化の過程で獲得したとても理にかなった構造をしています。また骨の名称や特徴的形状等を覚えることが、今後の学びを深めていく為の大切な土台となります。							
目標							
<b>一般目標 (GIO)</b> 本講義を学ぶことで達成されるべき目標	この科目の目標は、骨の名称や循環器の特徴を細胞レベルまで理解したうえで記憶し、柔道整復理論をはじめ、整復技術や様々な疾患・換骨を学ぶ際に、より正しく深く理解することにあります。						
<b>到達目標 (SBO)</b> 一般目標を達成するために必要な具体的な内容・客観的な目標(合格基準)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総論 骨の構造、形状による分類、関節の種類とそれぞれの特徴について、複数の選択肢の中から適切なものを選ぶことができる。</li> <li>・脊柱の構造について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。</li> <li>・胸郭の構造について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。</li> <li>・上肢骨の構造について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。</li> <li>・上肢帯、自由上肢骨の図で示す部位の名称を答えられることができる。</li> <li>・上肢の関節について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。</li> <li>・下肢骨の構造について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。</li> <li>・下肢帯、自由下肢骨の図で示す部位の名称を答えられることができる。</li> <li>・下肢の関節について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。</li> <li>・頭蓋について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。</li> <li>・体表解剖の図で示す部位の名称を答えられることができる。</li> <li>・正しい解剖学用語を複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。</li> <li>・細胞・組織・発生・人体の区分について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。</li> <li>・総論 心臓を中心とする血液循環、血管の形態と構造、心臓の構造について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。</li> </ul>						
履修に必要な予備知識や技能							
基礎的な生物学の知識、または生物学的な考え方を持って学ぶと理解しやすいことがあります。また日々学んでいく膨大な内容をどのように整理するとか、自分に最も適した方法を常に工夫する姿勢が大切です。							
教科書・参考書							
教科書:『解剖学 改訂第2版』(公社)全国柔道整復学校協会(医歯薬出版)							
受講上の注意							
ノートを作成して、復習中心に講義の振り返りをして下さい。また、知識の定着を目的とした小テストを行います。これを十分に復習することで定期試験対策にもなりますので、しっかりと取り組んでください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (クイズ形式)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合 (%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	解剖学概説と細胞学概説:解剖学とは何か、その考え方を理解理解する。			p.1-8, p.17-20	教科書・ノート ・筆記用具		
第2回	組織学概説:組織学の基本を理解する。			p.8-14	教科書・ノート ・筆記用具		
第3回	発生学総論:人体発生の基礎を理解する。			p.14-16	教科書・ノート ・筆記用具		
第4回	骨・関節の総論:骨、関節の基礎を理解する。			p.21-28	教科書・ノート ・筆記用具		
第5回	脊柱の構成:脊柱骨の名称を学び、構成を理解する。			p.28-33	教科書・ノート ・筆記用具		
第6回	脊柱の構成と連結:脊柱骨の構成と関節を関連付けて理解する。			p.28-33	教科書・ノート ・筆記用具		
第7回	胸郭の構成:胸郭骨の名称を学び、構成を理解する。			p.33-36	教科書・ノート ・筆記用具		
第8回	胸郭の構成と連結:胸郭骨の名称、構成と関節を関連付けて理解する。			p.33-36	教科書・ノート ・筆記用具		
第9回	復習と他の骨領域との連結:脊柱と胸郭の復習と頭蓋骨、上肢骨、下肢骨との連結部を理解する。			p.28-36	教科書・ノート ・筆記用具		
第10回	細胞、組織、発生学を含めた、これまでの復習。				教科書・ノート ・筆記用具		
第11回	上肢骨の構成1:上肢骨の名称を学び、構成を理解する。			p.36-40	教科書・ノート ・筆記用具		
第12回	上肢骨の構成2:上肢骨の名称を学び、構成を理解する。			p.40-42	教科書・ノート ・筆記用具		
第13回	上肢骨の連結:上肢骨の構成と関節を関連付けて理解する。			p.42-46	教科書・ノート ・筆記用具		
第14回	下肢骨の構成1:下肢骨の名称を学び、構成を理解する。			p.46-50	教科書・ノート ・筆記用具		
第15回	下肢骨の構成2:下肢骨の名称を学び、構成を理解する。			p.50-55	教科書・ノート ・筆記用具		
第16回	下肢骨の連結:下肢骨の構成と関節を関連付けて理解する。			p.55-59	教科書・ノート ・筆記用具		
第17回	頭蓋骨の構成:頭蓋骨の名称を学び、構成を理解する。			p.59-65	教科書・ノート ・筆記用具		
第18回	頭蓋骨の構成と連結1:頭蓋骨の構成と関節を関連付けて理解する。			p.65-70	教科書・ノート ・筆記用具		
第19回	頭蓋骨の構成と連結2:頭蓋骨の関節を頸椎と関連付けて理解する。他、全体のまとめと復習。			p.65-71	教科書・ノート ・筆記用具		
第20回	定期試験						
第21回	全体を通しての振り返り						
実務経験と本講義との関連について							
医学部および歯学部において、16年間の解剖学教育(人体解剖学実習・組織学実習と講義)に携わった実績を活かし、人体解剖学教育の実務者としての観点から人体の構造について講義する。							
メールアドレス							
imura-t@nihonisen.ac.jp							